

区間	延長	主な状況	備考
関広見IC ～ (高富IC)	8.4km	【用地】 用地取得中 【工事】 トンネル6本のうち4本貫通(北野・三輪・大洞・小洞)岐阜山県TN工事、橋梁上下部工事、改良工事を推進中	平成31年度 開通見通し
(高富IC) ～ (岐阜IC)	6.1km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【工事】 改良工事を推進中	
(岐阜IC) ～ (糸貫IC)	6.3km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【調査】 埋蔵文化財調査を推進中	
(糸貫IC) ～ (大野・神戸IC)	6.8km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
(大野・神戸IC) ～ 大垣西IC	7.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工事、改良工事を推進中	平成31年度 開通見通し
大垣西IC ～ 養老JCT	6.0km	平成24年9月15日開通	
養老JCT ～ (養老IC)	3.3km	【用地】 用地完了(平成26年度) 【工事】 橋梁上部工事、改良工事を推進中	平成29年度 開通見通し
(養老IC) ～ (北勢IC)	18.0km	【用地】 用地取得中 【設計】 橋梁・道路詳細設計を推進中 【工事】 工事用道路建設を推進中	
(北勢IC) ～ (大安IC)	6.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工事を推進中	
(大安IC) ～ 東員IC	6.1km	【工事】 橋梁上下部工事を推進中	平成30年度 開通見通し
東員IC ～ 新四日市JCT	1.4km	平成28年8月11日開通	

【延長】未開通:国土交通省の事業計画延長による 開通済:中日本高速道路(株)の管理延長による ※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路(一般国道の自動車専用道路)です。

本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。



<トピックス>

■東海環状地域整備推進協議会シンポジウムが開催



平成28年10月20日、東海環状自動車道沿線自治体や企業等の関係者が、開通による効果や全線開通への期待などを討論し、東海環状自動車道の沿線地域が連携し地域づくりを拡げていくことを目的に、シンポジウム(約430名参加)が開催されました。

シンポジウムでは、沿線自治体の首長や事業所の代表者らがパネル討論に臨み、岐阜・三重両県内で未開通となっている区間の早期整備に向けた期待を語りました。



愛称「MAGロード」
三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせて「MAGロード」と命名されました。マグネット(磁石)のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所

東海環状自動車道(西回り)現場状況

■ 養老JCT～(養老IC)

平成29年度開通見通し

平成29年1月撮影

平成28年12月撮影



平成29年度
開通見通し

平成28年11月、養老JCT～(養老IC)間の
橋桁が一連でつながりました

■ (大安IC)～東員IC

平成30年度開通見通し

平成30年度
開通見通し

平成28年3月撮影



平成29年1月撮影

平成29年1月撮影

■ 関広見IC～(高富IC)

平成31年度開通見通し

平成29年1月撮影

平成29年1月撮影

至 (岐阜IC)



■ (大野・神戸IC)～大垣西IC

平成31年度開通見通し

(大野・神戸IC)

平成29年1月撮影

平成29年1月撮影

揖斐川



■ (高富IC)～(大野・神戸IC)

平成29年1月撮影

平成29年1月撮影



■ (北勢IC)～(大安IC)

平成28年12月撮影

至 (北勢IC)

平成29年1月撮影

至 (北勢IC)

